

家族を捨てた父が、のこしてくれた家族。

海街diary



監督・脚本 是枝裕和 「そして父になる」

6.13 (SAT)

綾瀬はるか 長澤まさみ 夏帆 広瀬すず

加瀬亮 鈴木亮平 池田貴史 坂口健太郎 前田旺志郎 キムラ緑子 樹木希林
リリー・フランキー 風吹ジュン 堤真一 大竹しのぶ

原作 吉田秋生 「海街diary」 音楽 菅野よう子
(小学館「月刊フラワーズ」連載)

製作:石原隆 都築伸一郎 市川南 依田巽 プロデューサー:松崎薫 田口聖 アソシエイトプロデューサー:西原恵
撮影:瀧本幹也 照明:藤井稔恭 録音:弦巻裕 美術:三ツ松けいこ 装飾:松尾文子 衣裳デザイン:伊藤佐智子 ヘアメイクデザイン:勇見勝彦
助監督:兼重淳 遠藤薫 スクリプター:矢野千鳥 キャスティング:田端利江 制作担当:熊谷悠 ラインプロデューサー:熊谷喜一
製作:フジテレビジョン 小学館 東宝 ギャガ 制作プロダクション:FILM 配給:東宝 ギャガ
©2015吉田秋生・小学館/フジテレビジョン 小学館 東宝 ギャガ



父が死んで、鎌倉の家に、腹違いの妹がやってきましたー。
海が見える街を舞台に、四姉妹が絆を紡いでいく。
深く心に響く、家族の物語。



第11回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞、マンガ大賞2013受賞の、吉田秋生のベストセラーコミックを、「そして父になる」の是枝裕和監督が映画化。今、一番見たい“四姉妹”が実現した。

四姉妹が織り成す清新でリアルな絆を描き、性別、世代を超えて高い人気を集めるコミック「海街diary」。この作品をどうしても自分の手で、と熱望し映画化に挑んだのは、2013年カンヌ国際映画祭審査員賞をはじめ数々の賞に輝いた「そして父になる」の是枝裕和監督。そんな是枝監督のもとに、今を咲き誇る女優たちが集まった。長女に綾瀬はるか、次女に長澤まさみ、三女に夏帆、異母妹の四女に広瀬すず。さらに、大竹しのぶ、堤真一、加瀬亮、風吹ジュン、リリー・フランキー、樹木希林と、日本を代表する豪華俳優陣による贅沢な共演が実現した。

両親を許せない長女と、自分を許せない四女。

それぞれの想いを抱えながら、四人が本当の家族になっていく一年間の物語。

まぶしい光に包まれた夏の朝、鎌倉に住む三姉妹のもとに届いた父の訃報。十五年前、父は家族を捨て、その後、母（大竹しのぶ）も再婚して家を去った。父の葬儀で、三姉妹は腹違いの妹すずと出会う。三姉妹の父を奪ったすずの母は既に他界し、頼りない義母を支え気丈に振る舞う中学生のすずに、長女の幸は思わず声をかける。「鎌倉で一緒に暮らさない？」。しっかり者の幸と自由奔放な次女の佳乃は何かとぶつかり合い、三女の千佳はマイペース、そんな三姉妹の生活に、すずが加わった。季節の食卓を囲み、それぞれの悩みや喜びを分かち合っていく。しかし、祖母の七回忌に音信不通だった母が現れたことで、一見穏やかだった四姉妹の日常に、秘められていた心のトゲが見え始めるー。

6.13(SAT) ROADSHOW